

工事写真報告書

工事番号 平成 25 年度

工事名 A様邸 (理容室)

工事箇所 屋根・外壁その他塗装工事一式

工事住所 八幡西区北筑

工 期 着 手 平成 年 月 日

竣 工 平成 年 月 日

工事施工者 ベストホーム株式会社



外観

外壁

破風・鼻かくし

胴差し

道路側下屋根

鉄部

雨樋

外観

外壁

破風・鼻かくし

胴差し

道路側下屋根

鉄部

雨樋

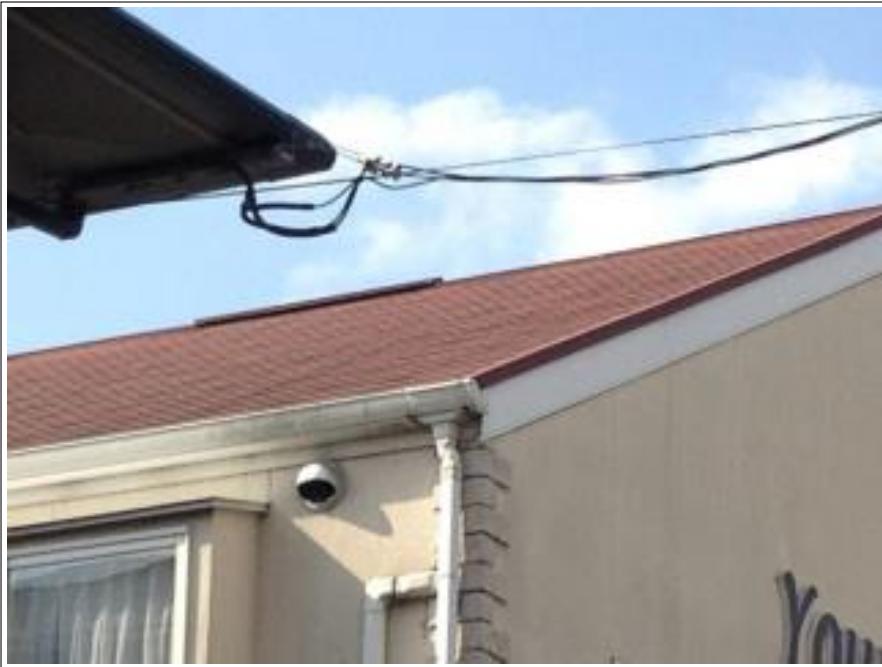
外観

外壁

胴差し

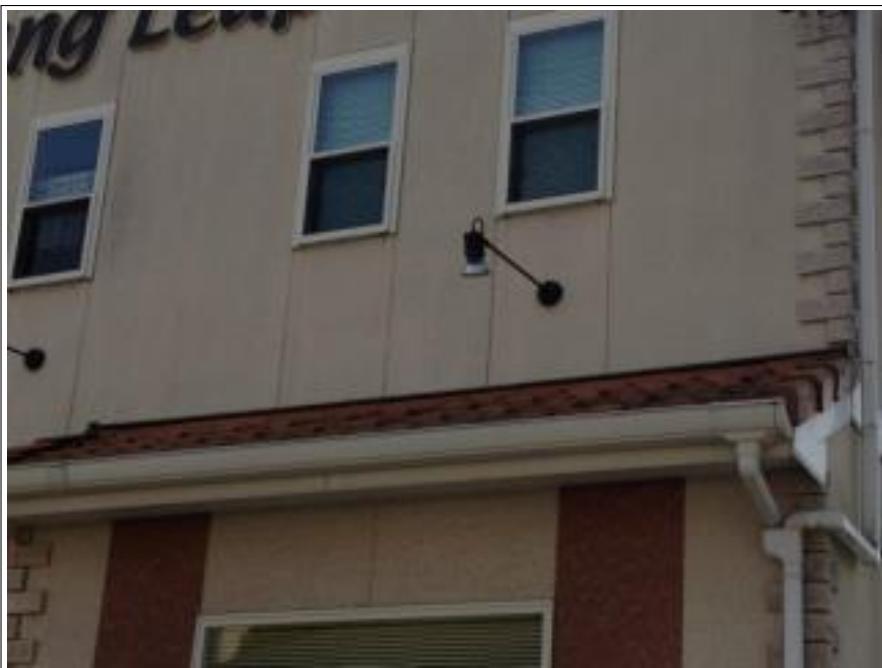
鉄部

雨樋



カラーべスト・コロニアル

カラーべストの素材は、セメントと石綿 85 : 15 の割合で混合して作られており、葺き替えとなると、処分費がかなりかかりますので、劣化する前に早め早めの塗装をお勧めします。



モニエル瓦（店舗側下屋根）

モニエル瓦は通常の洗浄での塗装では剥がれる恐れがありますので、高圧洗浄を二回おこない、浸透し屋根材を下地補強をおこなう下塗り二回・上塗り二回の四工程をおこないます。



雨樋・ダクトカバー・その他配管

こちらは塩ビ素材になります。紫外線などにより劣化すると割れる恐れがありますので、塗装をして長持ちさせていきます。



破風・鼻かくし

このまま上に塗装をしても下から剥
がれできますので、密着の悪い旧塗
膜を洗浄やケレン作業で取り除き、
下塗り・上塗りを行います。



胴差し

旧塗膜が剥離をおこしています。
このまま上に塗装をしても下から剥
がれできますので、密着の悪い旧塗
膜を洗浄やケレン作業で取り除き、
下塗り・上塗りを行います。



胴差し

亀裂がある箇所がありました。
こちらはシーリング補修を行い、下
塗り、上塗りを行います。



雨戸 シャッターBOX

こちらは鉄・スチール素材になります。

劣化するとサビが発生してしまいますので、塗装が必要です。

雨戸

サビが発生している場合、いくら塗装をしてもすぐにサビが発生してきますので、サビが発生している部分はケレン作業をおこないサビ止め・上塗りをおこないます。

水切り

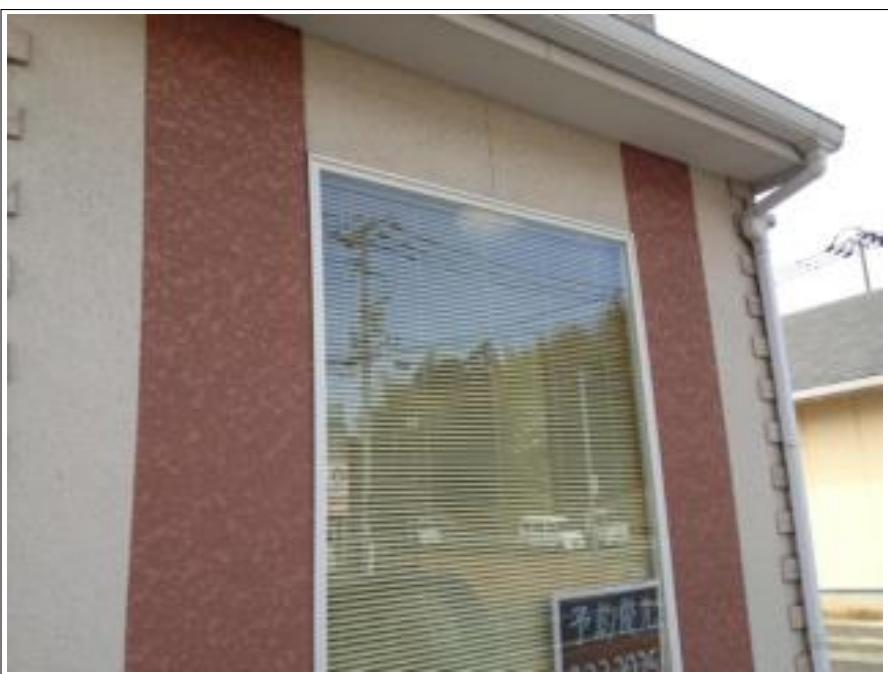
同上





小庇

こちらも鉄・スチール素材となりますので、サビが発生する前の塗装をおすすめします。



店舗側 外壁アクセント

こちらも、アクセントを生かした塗り分けをおこないます。



ピンホールの発生

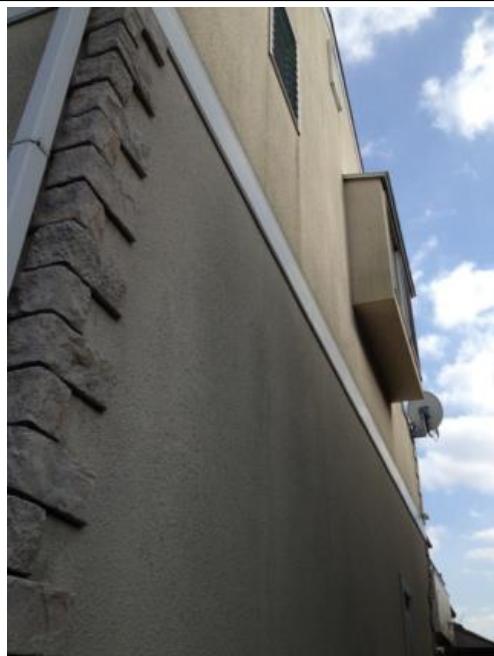
新築塗装時の吹付け塗装施工時に、空気を巻き込んでしまい、乾燥過程でその空気が抜ける際に出来る穴のことです。

この現象も、防水効果を損なうことになりますので、下地処理下塗りをしっかりとおこなう必要があります。

外壁 カビ発生部

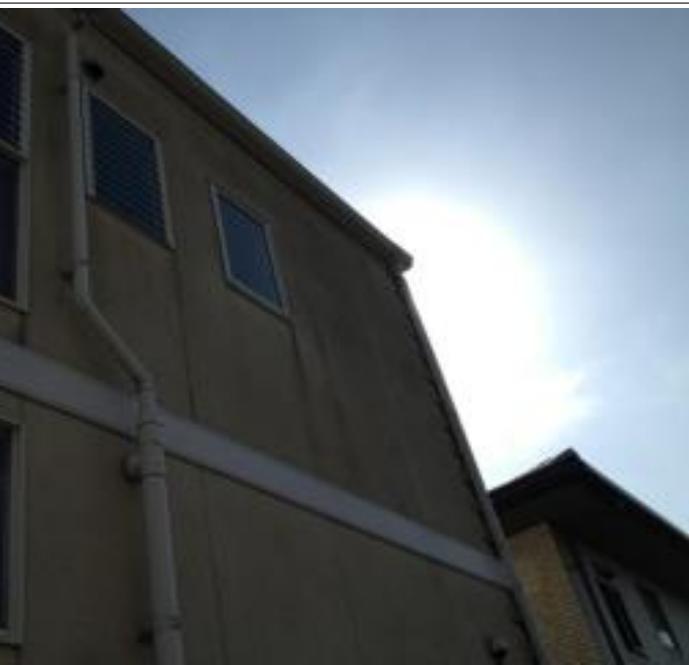
カビが発生している部分があります。

いくら洗浄をしてもカビは根から残っており、またその上にいくら良い塗装してもカビが塗膜を突き破つて表面に出てきますので、カビの根から抑える必要があります。



外壁（西面） カビ発生部

カビが発生している部分は、カビの根を殺す下塗りバリアーを行い、下塗り、上塗り二回の三層四工程を行います。



外壁（北面） カビ発生部

こちらの箇所にも、カビの根を殺す下塗りバリアーを行い、下塗り、上塗り二回の三層四工程を行います。



クラック部

この部分から雨水や湿気、炭酸ガスが直接侵入し外壁はもちろん躯体の痛みにつながってきますので、補修が必要です。



クラック部

このような部分はシーリングやパテ補修をおこない、塗装を行います。



外壁一部

こちらの箇所は、新築時の塗装を厚くし過ぎたせいか、塗装表面が割れています。

この部分は下地処理をしっかりとおこない塗装を行います。



サッシ周り シーリング部

見落としがちですがこの部分から雨漏れの原因にもつながってきますので補修・塗装が必要です。



外壁（北面） 外壁欠損部

旧塗膜が剥離を起こしています。このまま塗装をしても旧塗膜から剥がれてしまいますので、高圧洗浄をして、密着が悪い旧塗膜はケレン作業を行い塗装をかけていきます。



玄関前 外壁欠損部

同上